

法政大学大学院 人文科学研究科日本文学専攻

文芸創作研究プログラム開設



社会の中での文芸創作、 文化創造の意義と仕組みを学ぶ 新たなプログラムです。

「文芸創作研究プログラム」では、実際の創作を通して創造的な表現を作り上げることを学びます。制作した文芸作品を修士論文に替わるものとして提出できます。時代に相応しい新鮮な感受性と新しい精神が生み出される過程を社会の中の創作という広い視野で学ぶことができます。この教育プログラムは狭い意味での創作家養成のプログラムではありません。文芸創作(小説、詩歌、評論、戯曲)の制作を学ぶことはもちろん、同時にそれらが発表される過程の諸問題をも学びながら考察し、広い視野を持って文化を構築できる専門的知識をも身につける教育プログラムです。

グーテンベルグ登場以来の革命といわれる IT 技術の進行の中で、創作家はどのような問題に直面しているのでしょうか? また作品を社会に発表するとはどのような意味を持つ行為なのでしょうか? 法政大学日本文学科文芸コース(文芸創作を卒業制作として提出できるコース)の上級コースの意味を持つ文芸創作研究プログラムでは、素朴な創作研究から、より現実的な創作研究をめざします。

プログラムで学んだことを生かして制作された作品は、 修士論文に相当するものとして提出することができます。 あわせて提出する文芸創作に関しての研究副論文とともに、 その内容については指導教員と充分な相談をすることができます。

創作を実践し、文学作品を内的に理解する

文芸創作を学ぶためのもっとも基本的な方法は、もちろん文芸創作を実践することです。文芸創作家にとって、創作をすることは作品を生みだす行為であると同時に、まだ書かれていないものを自分の力で書くための訓練の場でもあります。書けるかどうかわからないものを書こうとすること、そこにこそ創作の本質がありますが、新設講座「文芸創作研究」は、そのような訓練の場としての文芸創作を実践する授業です。どのようなジャンルの作品でなにをどう書くか、すべては創作をする学生の自由です。作品提出

と創作合評を交互に行い、そうして自由に書かれた言葉が 読者を説得するまでの過程を体験し、より高度な作品制作 を試みながら文学作品が生まれるメカニズムを内的に理解 します。

作家本人と一緒に作品研究をする

新設講座「作家特殊研究」は、豊富なキャリアをもちなお第一線で活躍する文芸創作家を毎年招聘し、主にその作家の作品を作家本人とともに研究するというきわめてユニークな授業です。作品が生まれた現場を知る実作者の前で研究を発表し、双方向的なコミュニケーションを行いながら作品生成のプロセスをダイナミックに学び、創作そのものへのヒントから作品研究へのまったく新しい視点、文学作品や文芸創作家が置かれた社会的状況などへの理解を多角的に、かつ総合的に獲得することを目指します。その成果は、授業から学んだことを生かした作家研究の冊子をまとめることによって、毎年かならずかたちに残していきます。

創作を社会のものとするうえで 現代的な諸問題を学習考察する

作品を発表した創作家は、様々な社会的な義務と責任を 負うことになります。著作権に代表される表現者の権利は、

〈文芸創作研究関連科目〉

 文芸創作研究
 4単位
 田中和生

 作家特殊研究
 4単位
 絲山秋子

 (2011年度担当予定)

日本文芸特講2(アートマネジメント研究)

 4単位
 中沢けい

 編集理論
 2単位
 長谷川郁夫

 創作と現代
 2単位
 内藤裕之

 日本文芸批評史
 4単位
 田中和生

 文学と風土
 4単位
 川村澤

〈文芸創作研究プログラム関連担当教員〉

川村湊 教授

国際文化学部教授 文芸評論家。著書に「補陀落 観音信仰への旅」「牛頭天王と蘇民将来」など。

中沢けい 教授

小説家。著書に「海を感じる時」「楽隊のうさ

ぎ」など。

田中和生 準教授

文芸評論家。著書に「あの戦場を越えて日本現代文学論」「新約太宰治」など。

長谷川郁夫 兼任講師

大阪芸術大学教授、編集者。著書に「美酒と 革嚢 第一書房・長谷川巳之吉」「堀口大學 詩 は一生の長い道」など。

内藤裕之 兼任講師

講談社文芸局局長、編集者。「群像」「ペントハウス」「フライデー」などの編集部を歴任。

絲山秋子 兼任講師

小説家。著書に「袋小路の男」「沖で待つ」な どがある。2011年度「作家特殊研究」担当予 定。

〈日本文学科専攻教員〉

堀江 拓充 教授 日本近・現代文学 坂本 勝 日本古代(前期)文学 間宮 厚司 教授 日本語学 千野 田日香 教授 中国口承文芸 黒田 真美子 教授 中国古典文学 S・G・ネルソン 教授 日本音楽史 中沢 けい 文芸創作 教授 小秋元 段 教授 日本中世文学 阿部 真弓 日本中世文学 准教授 藤村 耕治 准教授 日本近・現代文学 加藤 昌嘉 日本古代(後期)文学 田中 和生 日本近・現代文学・ 文芸評論

 尾谷 昌則
 准教授
 日本語学

 伊海 孝充
 専任講師
 日本中世文学

男」「沖で待つ」な 『特殊研究」 担当予

日本文学についての造形を深める

インターネットの登場で世界はグローバル化していますが、それだけに日本語と日本文学についての高度に専門的な知識が貴重なものとなっています。法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻に設置されている講座で、上代から近現代までの日本文学と日本語について専門的に学べる講座が設置されています。創作を学びながら、同時に日本文学についての造詣を深めることができます。

創作についての体験を深め、 創作家が持つべき見識を育て、 創作家と社会を結ぶ専門家を育てる。

文芸創作は孤独な作業だと言われます。作品を書くことは確かに孤独な作業であることはまちがいありません。しかし、その孤独な作業が多くの読者を得て、社会に共有される言葉と精神の財産となるためには、多くの人の手と英知が必要とされます。一編の詩を生み出すのは、詩人の孤独な魂ですが、その詩は発見されることがなければ、孤独な魂の秘密のまま埋もれてしまいます。一編の詩は発見されることによって、多くの人々の魂の中で命を得て、言葉の財産となるのです。「文芸創作研究プログラム」は、創作の手応えを感じながら文化を創造できる専門家を育てる教育カリキュラムです。

創作家にとって権利侵害の加害者ともなれば被害者にもなる権利です。また創作のモデルによって、プライバシー侵害として訴えられる事件も起きています。こうした問題について創作家はどのような見解と見識を持てばよいのか新設講座「表現と社会」で学習考察します。実際の著作権侵害事件などをもとにケーススタディとして、問題解決のための道筋を考察して行きます。知的財産権の侵害事案の現場で解決に当たる編集者を講師に迎えます。また文芸作品を読者の手に渡すための流通の仕組みや、そこで起きている諸問題、さらには文化行政との関係などを「アートマネージメント」講座で学びます。

エディターシップとクラフトマンシップを学ぶ

文芸創作が「作品」となるためには、創作がなんらかの形で発表されなくてはなりません。従来は「本」が出版されるということで文芸創作は「作品」となりました。そこには編集という重要な要素が存在しています。優れた作家は同時に優れた編集者でもあり、近代文学はそれらの人々によって形成されてきました。新設講座「編集理論」ではエディターシップとクラフトマンシップという二つの観点から編集とは何かを学びます。編集は、ネット時代においてはもっとも重要な要素であり、創作を考えるうえでも、見逃すことができない要素です。

◆他開設科目

日本文学専攻

日本文芸批評史(田中和生)

日本古代文芸原典研究(坂本勝)

日本古代文芸演習 (加藤昌嘉)

日本古代文芸特講(天野紀代子)

日本中世文芸原典研究(小秋元段)

日本中世文芸演習(西野春雄)

日本近世文芸原典研究 (小林ふみ子)

日本近世文芸演習 (澤井啓一)

日本近代文芸原典研究 (堀江拓充)

日本近代文芸演習 I (堀江拓充)

日本言語学原典研究(間宮厚司)

日本言語学演習(尾谷昌則)

沖縄文芸史(竹内重雄)

中国文学 (黒田真美子)

日本文芸特講 II

〈アートマネジメント研究〉(中沢けい)

国語と文芸教育法 (田中実)

女性文学(長谷川 啓)

文芸と視聴覚芸術 (上野昂志)

学際的文学論 (J・クライナー)

文学と風土 (川村 湊)

能楽作品研究 (山中玲子)

能楽資料研究 (宮本圭造)

現代能楽論(山中玲子・観世鐵之丞・

観世喜世・高橋悠介)

日本語・日本文学の基礎 (伊海孝充)

表現と社会 (内藤裕之)

編集理論(長谷川郁夫)

このほか他専攻の科目も履修可能です(科 目名・担当教員名は2010年度のもの)

法政大学 大学院

人文科学研究科日本文学専攻 募集要項

修士課程20名程度 博士後期課程2名程度

・・・・入試の種類

法政大学大学院では、多用な入試方法を用意し、さまざまなバックグラウンドを持つ志願者に 広く門戸を開くことに努めています。

※一般入試

社会人、外国人に特化した入試ではなく、幅広い受験資格により広く門戸を開いた入試方法で す。もちろん、社会人、外国人の方も受験できます。

修士	筆記試験(専門科目・外国語〈英語・中国語〉)	口述試験
博士	筆記試験 (専門科目・英語)	
	入試日程=修士は秋季・春季2回 博士は春季のみ	

*文芸創作研究プログラムを志望する場合は、提出書類の受験論文として、創作(ジャンル、枚数は自由。 既発表・未発表を問わない)を提出できます。

※社会人入試

社会人などを対象とした入試方法です。

修士	筆記試験(専門科目に関わる小論文)	口述試験
	入試日程=秋季・春季2回	

*文芸創作研究プログラムを志望する場合は、受験論文として、創作(ジャンル、枚数は自由。既発表・未 発表を問わない)を提出してください。

※外国人入試(修士課程のみ)

外国の大学等を卒業した外国人を対象にします。なお、日本の大学を卒業した方 (見込みも含 む)であっても、日本での通算滞在期間が6年以下であれば、受験することができます。

修士 筆記試験(専門科目に関わる小論文・日本語) 口述試験 入試日程=春季

*文芸創作研究プログラムを志望する場合は、提出書類の受験論文として、日本語による創作(ジャンル、 枚数は自由。既発表・未発表を問わない)を提出できます。

*入試の評価については、それぞれの入試要項により、ご確認ください。

*入試要項と過去問題集をご希望の方は、住所、氏名、電話番号を、志望される研究科:専攻名を明記の上、 Eメール、FAX、ハガキにてご請求ください。



- アクセス JR /都営新宿線:市ヶ谷駅より徒歩7分
 - ■東京メトロ有楽町線・南北線:市ヶ谷駅5番出口徒歩2分
 - JR /東京メトロ東西線・都営大江戸線:飯田橋駅より徒歩 10分

【申し込み・問い合わせ先】

法政大学 大学院事務部 大学院課

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-15-2 法政大学大学院棟1F

TEL: 03-5228-0550~2 FAX: 03-5228-0555 E-Mail: hgs@i.hosei.ac.jp

www.hosei.ac.jp/gs/